

TRINITY REPORT

第89期中間報告書 2022年4月1日 - 2022年9月30日

トリニティ工業株式会社

証券コード：6382



テクノロジーで地球にやさしい未来へ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第89期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、業績等につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症や半導体をはじめとする物資の世界的な供給制約などにより、依然として厳しい状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、感染拡大防止策を徹底し、設備部門では、既受注プロジェクトの着実な遂行、塗装機器の収益拡大、カーボンニュートラルを中心とする技術革新、更なる非自動車産業への拡販、新製品の開発に取り組んでまいりました。

自動車部品部門では、供給責任を果たしながら大幅な需要変動への柔軟な対応、大型成型品の生産拡大等を通じお客様の期待に応えるとともに、異業種など新たな領域への拡大や、変種変量に強い柔軟な生産体制の構築に取り組んでまいりました。

しかしながら、半導体不足等による主要取引先の生産調整に伴い、自動車部品部門の生産・販売の減少及び設備部門の塗装設備納入等の減少により、当社グループの連結売上高は130億9千3百万円と前年同期と比べ15億9千3百万円（10.9%減）の減収となりました。営業利益は3千2百万円と前年同期と比べ9億4千8百万円（96.7%減）の減益、経常利益は2億4千5百万円と前年同期と比べ9億5千4百万円（79.6%減）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9百万円と前年同期と比べ4億6千1百万円（59.8%減）の減益となりました。

当期の中間配当につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績及び経営環境等を踏まえ検討した結果、1株当たり15円とさせていただきます。

第3四半期以降は回復が見込まれるものの、半導体不足等による主要取引先の生産調整及びエネルギー費等の高騰により、厳しい状況が続きますが、収益基盤の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

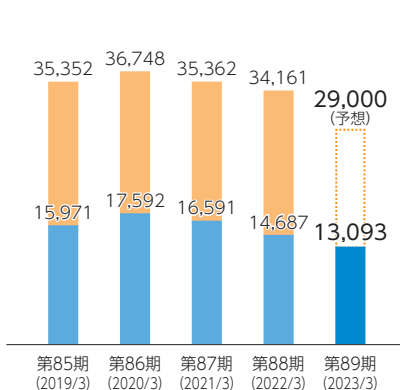


代表取締役社長 玉木 利明

連結業績 ハイライト

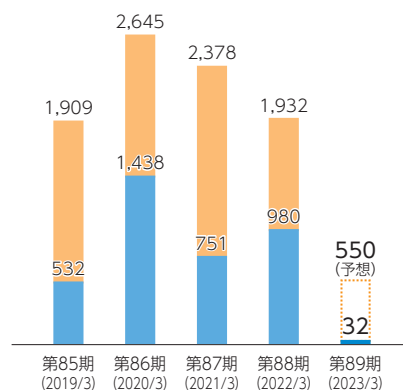
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円)



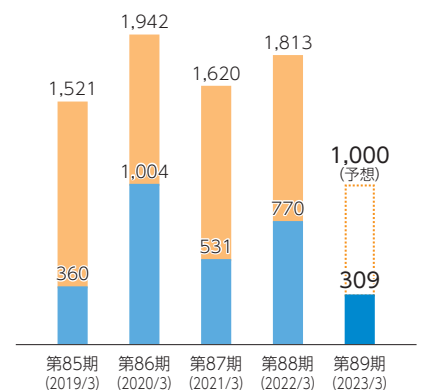
営業利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益

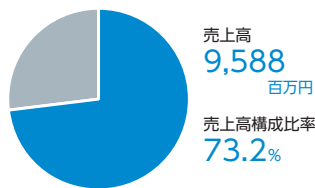
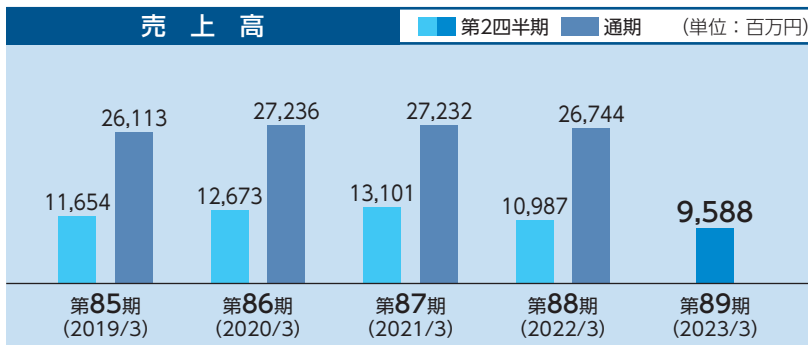
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円)



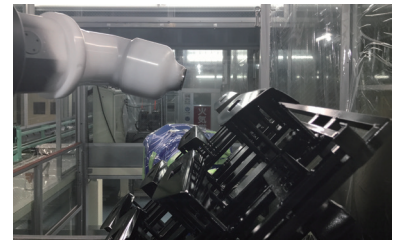
事業紹介

当社グループは設備（塗装プラント・塗装システム・産業機械）の設計・製造及び販売、自動車部品の製造及び販売を主な業務としております。

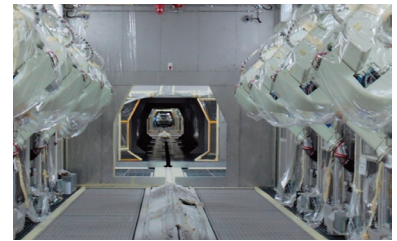
事業区分	事業内容	主要製品
設備部門	塗装の入口から出口まで最新技術と環境技術で構築 小規模プラントから巨大プラントまで塗装に関するプラント全工程のプランニング・設計・製作・施工、さらにはアフターサービスまで一貫したサービスを提供いたします。	前処理装置 電着塗装装置 塗装ブース・空調装置 乾燥炉 他
	高品質、省エネ、低コスト、より環境にやさしい塗装機器 塗装システムは省エネ・省資源・省人化・無公害・作業環境向上などを技術的目標として開発され、塗装プラントの効率化と安全性の向上に大きく寄与いたします。	各種塗装機 塗装ロボットシステム 塗料供給システム 電界流動粉体静電装置 他
	「熱・水・空気」に関連する技術をフルに駆使・応用 幅広い産業分野の多様な設備機械の開発・設計を行い、お客様のご要望に応じた様々な製品を提供いたします。	熱処理炉 オートクレーブ 静電塗油装置 他



設備部門は、塗装設備納入等の減少により売上高は95億8千8百万円と前年同期と比べ13億9千9百万円（12.7%減）の減収となりました。

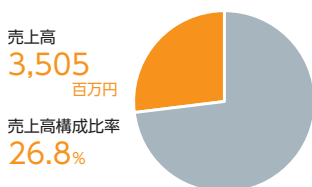
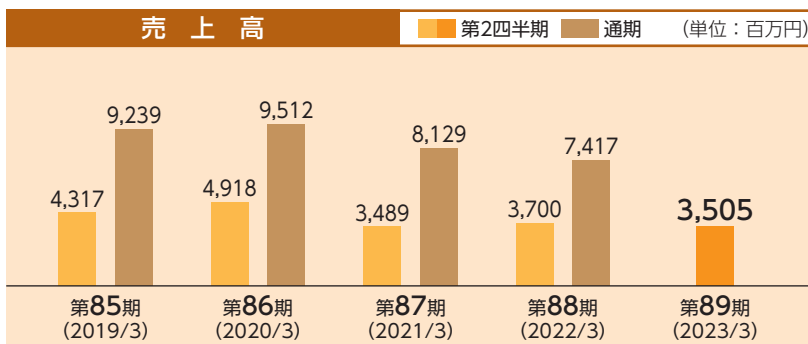


高塗着塗装機



塗装プラント（ブース内）

事業区分	事業内容	主要製品
自動車部品部門	世界トップクラスの意匠表現を、塗装技術力をベースに、アイデアとセンスで実現 環境に配慮した「Tri-D ³ eco（トライデコ）」を主軸に内装部品及び外装部品の成形と塗装を手掛けており、企画・設計から金型、表面処理、組付けまでを一貫する事業展開を実施しております。	センタークラスターパネル コンソールパネル ドアスイッチベース ステアリングホイール ロッカーモール 他



自動車部品部門は、内装部品及び外装部品の生産・販売の減少により売上高は35億5百万円と前年同期と比べ1億9千4百万円（5.3%減）の減収となりました。



自動車部品（内装部品）

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)	前期末 (2022年3月31日現在)
流動資産	24,239	25,460
固定資産	13,164	13,326
資産合計	37,403	38,786
流動負債	8,456	9,727
固定負債	1,365	1,501
負債合計	9,822	11,229
株主資本	25,426	25,681
その他の包括利益累計額	1,501	1,278
非支配株主持分	653	596
純資産合計	27,581	27,557
負債・純資産合計	37,403	38,786

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期累計 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	前第2四半期累計 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,015	1,447
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 139	△ 271
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 681	△ 412
現金及び 現金同等物の期首残高	11,064	10,832
現金及び 現金同等物の四半期末残高	12,596	11,680

(1株当たり情報)

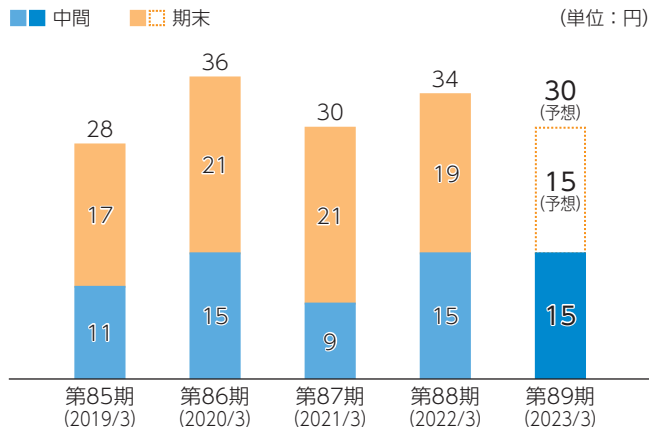
1株当たり純資産	当第2四半期累計	1,677円18銭	前第2四半期累計	1,594円33銭
1株当たり四半期純利益	当第2四半期累計	18円90銭	前第2四半期累計	46円95銭

連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期累計 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	前第2四半期累計 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)
売上高	13,093	14,687
営業利益	32	980
経常利益	245	1,199
税金等調整前 四半期純利益	563	1,199
親会社株主に 帰属する四半期純利益	309	770

1株当たり配当金



トピックス

カーボンニュートラルに向けた取り組み

2022年11月、三好工場に太陽光発電設備を設置いたしました。
三好工場の総電力使用量の約5%近くに相当する年間約15万3,000kWhを太陽光発電で賄うことになり、CO₂排出量低減に貢献しております。
また、BCP（事業継続計画）の一環として、災害発生時等における停電の際の通信手段（スマートフォン等）などの電源確保に利用できるようになりました。
当社は、カーボンニュートラルの実現に向けて、環境技術の開発と再生可能エネルギーの導入に取り組んでまいります。



プロジェクト活動賞受賞

2022年6月、ダイハツ工業株式会社殿より、京都（大山崎）工場リファインの塗装設備に対し、設計段階から材料や工法を見直し、安全かつ最適な方法を提案するなど、新規プロジェクト立上げへ貢献したことが評価されました。
今後もおお客様の期待に応えられる活動を推進してまいります。



コーポレート・データ (2022年9月30日現在)

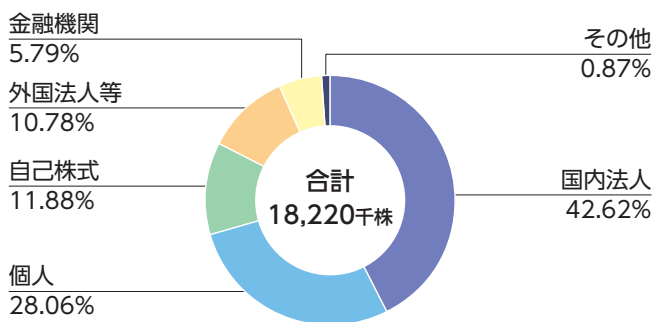
商号	トリニティ工業株式会社 (1980年に合併し、同年より現社名)																																		
設立	1946年10月2日																																		
本店所在地	愛知県豊田市柿本町一丁目9番地																																		
事業所	豊田工場 三好工場 東京支店 大阪支店 東北営業所 田原営業所 九州営業所																																		
グループ会社	子会社10社 関連会社5社																																		
資本金	13億1,100万円																																		
従業員数	連結970名 単体781名																																		
役員	<table border="0"> <tr> <td>取締役社長</td> <td>玉木 利明</td> <td>取締役</td> <td>成田 年男</td> </tr> <tr> <td>取締役副社長</td> <td>細江 昌樹</td> <td>取締役</td> <td>光田 禎宏</td> </tr> <tr> <td>専務取締役</td> <td>飯田 基博</td> <td>取締役</td> <td>伊藤 恵一</td> </tr> <tr> <td>専務取締役</td> <td>乗安 弘治</td> <td>社外取締役</td> <td>金子 芳樹</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>高林 伸二</td> <td>常勤監査役</td> <td>青木 徹</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>井村 明広</td> <td>社外監査役</td> <td>宮部 義久</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>久米 潤一郎</td> <td>社外監査役</td> <td>本間 圭祐</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>飯塚 康弘</td> <td>社外監査役</td> <td>山田 美典</td> </tr> </table>			取締役社長	玉木 利明	取締役	成田 年男	取締役副社長	細江 昌樹	取締役	光田 禎宏	専務取締役	飯田 基博	取締役	伊藤 恵一	専務取締役	乗安 弘治	社外取締役	金子 芳樹	常務取締役	高林 伸二	常勤監査役	青木 徹	常務取締役	井村 明広	社外監査役	宮部 義久	常務取締役	久米 潤一郎	社外監査役	本間 圭祐	常務取締役	飯塚 康弘	社外監査役	山田 美典
取締役社長	玉木 利明	取締役	成田 年男																																
取締役副社長	細江 昌樹	取締役	光田 禎宏																																
専務取締役	飯田 基博	取締役	伊藤 恵一																																
専務取締役	乗安 弘治	社外取締役	金子 芳樹																																
常務取締役	高林 伸二	常勤監査役	青木 徹																																
常務取締役	井村 明広	社外監査役	宮部 義久																																
常務取締役	久米 潤一郎	社外監査役	本間 圭祐																																
常務取締役	飯塚 康弘	社外監査役	山田 美典																																
株式の状況	発行可能株式総数	50,000,000株																																	
	発行済株式の総数	18,220,000株																																	
株主数	2,671名																																		

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	5,895	36.72
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	817	5.09
豊田通商株式会社	580	3.62
株式会社三井住友銀行	358	2.23
株式会社三菱UFJ銀行	336	2.09
株式会社タナベスポーツ	272	1.70
株式会社河上澄夫商店	239	1.49
原田 義久	229	1.43
安富 次子	218	1.36
株式会社豊田自動織機	200	1.25

(注) 持株比率は自己株式(2,164,402株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

証券コード：6382
 上場証券取引所：東京証券取引所 スタンダード市場
 事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
 配当金受領株主確定日：3月31日
 中間配当金受領株主確定日：9月30日
 定時株主総会：6月
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関
 同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 公告の方法：電子公告
 公告掲載URL <http://www.trinityind.co.jp/>
 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)
 単元株式数：100株

ホームページのご案内

<http://www.trinityind.co.jp/>

(ご注意) 未受領の配当金のお支払及び特別口座に記録された株主様のお手続きは、三菱UFJ信託銀行本支店で取次ぎさせていただきます。なお、証券口座に記録された株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社経由にてお願いいたします。